会　議　等　結　果　報　告　書			
会議区分	会　議　・　打合せ　・協　議	文書番号	安総務第　　号
		決裁期日	令和８年１１月　日
名　　称	**令和８年度第３回安平町行政改革推進委員会**		
日　　時	令和８年１１月４日　午前・午後　　１０時００分 ～　１２時００分		
場　　所	安平町役場総合庁舎　２階中会議室１		
出 席 者	委員　５名　真保委員長、新沼副委員長、田村委員、高村委員、三本委員 事務局　１３名　　事務局　総務課　岡担当課長、野田補佐、横谷 水道課　谷村担当課長、佐々木担当課長、近藤補佐、北野補佐、田畑補佐、小島補佐、松尾主幹、田中伸主幹 社会教育Ｇ　下出担当課長、武田補佐		
会議概要 （要点記載）	１．開会 前段で町長不在のため副町長から委嘱状を交付。 ２．委員長あいさつ ３．付議事項 （１）水道料金の改定について（水道課） 別紙議案により、水道課　谷村担当課長より説明。 【質疑・意見】 「委員」 回収率 51%を確保するため 28%の値上げという理解で良いか。 51%に設定した根拠は。 「水道課」 本来は 64%が理想でるがそれでは値上げ幅が大きすぎるため、10 年後の 51%を設定した。 「委員」 回収率が 64%という要因はなにか。 人口減少はどこまで考慮するのか。 「水道課」 自然減に社会増が追いつかないという想定で設定している。 当初の人口推計の減少率を見直して設定はしている。 老朽化があり、その設備更新するための資材等の物価上昇がある。 「委員」 スマートメーターとは何か。 「水道課」 現地に行かなくても自席の PC で確認できるシステムのこと。 「委員」 スマートメーターの関係で、郵便局でアンケートを実施。 スマートメーターの普及率はどれくらいか。 「水道課」 当初は農村地区で実施していたが現状は農村地区に限らず約 60%の普及率である。 ８年サイクルで切り替えの必要があり、３年くらい前から導入している。 「委員」 スマートメーター導入の費用対効果は。 「水道課」		

	1,000 千円くらい人件費は減っている。 漏水の早期発見が大きなメリットである。 「委員」 配達員がスマートメーターを確認できたり連携できる部分があればと考える。 「委員」 P7 の各市町の水道料金一覧を見るとこれまでの安平町の水道料金が安いと改めて気づいた。 説明会で理解してもらうために示していくと良いのでは。 「水道課」 現状は全道的には中くらいの料金。改定すると６位くらいになる。 （２）下水道使用料の改定について（水道課） 別紙議案により、水道課　佐々木担当課長より説明。 【質疑・意見】 「委員」 水道事業と基本的な考え方は同じか。 R6 の回収率が 32.5%と記載があるが、過去の推移の数字資料があるとわかりやすいのではないか。 「水道課」 比較対象とできる R6 の公営企業会計となってからの数字を使用している。 「委員」 P8 の不明水対策で、すでに実施しているものはあるか。 「水道課」 ３の管渠内カメラ調査、４のマンホール点検は実施している。 水道料金、下水道料金改正については、１２月に４地区で住民説明会を開催。 （３）社会体育施設の廃止の検討について（教育委員会事務局） 別紙議案により、社会教育 G 下出担当課長より説明。 【質疑・意見】 「委員」 先月開催された町政懇談会でも話題となった。安平山について住民から意見があった。 単なる廃止ではなく民間委託等による活用を希望する声があった。 「委員」 追分プールの築年数など施設の状況は。 「社会教育 G」 昭和 57 年くらいに建設された。 今は早来のプールまでバスで来て授業を実施している。 「委員」 スキー場の営業期間が短いのは温暖化が要因だと考える。 「委員」 スキー場はファミリーでの利用が多いと思う。 スケートリンクはナイターの利用者がいないことが残念。 子どもたちの生活も変わってきている。 「委員」 追分小の冬のスキー授業がなくなった理由が腑に落ちないという声を聞いた。 維持費用をみると行政主導は難しい部分があるのでやはり民間主導に移行できないものか。

	「社会教育 G」 　安平山は平成元年に開設した。多額の経費がかかるリフト自体の更新も必要な状況である。 　以前、民間譲渡の話もあったが、夏場のグラススキーもリフトを動かせないと難しい。 　３億から４億の更新費用が必要となる。 　スキーの購入に教員も保護者も購入負担があることもネックであった。 （４）行革プラン 2022 の令和７年度実績について（総務課） 別紙議案により、総務課　横谷より説明。 【質疑・意見】 「委員」 　いぶきの移管とはどのようなことか。 「総務課」 　商工会の所有の施設を町に移管するもの。 　あわせて追分地区の公共施設を集約して行政改革を図るもの。 　協議の進捗はなく、継続協議中である。 「委員」 　時間外勤務をする職員の固定化の対策は。 「総務課」 　まずは仕組みを整える。デジタル化や紙の削減もそのひとつ。 　帰りの放送でも時間外勤務の事前申請の徹底。 「委員」 　町のラインアプリの情報発信をイベント情報のみではなく、住民生活に沿った情報発信をお願いしたい。せっかく機能としてあるラインアプリの基本メニューの使用方法もたまに伝えていかがか。 ４．その他 ５．閉会